

誕生! 55%の新ジャンル!

植物由来のセルロースファイバーを55%以上の濃度で樹脂に混合させた「森のタンブラー」誕生。環境に配慮した新たな材料技術が、きめ細かな泡立ちと、自然の香りを実現しました。

プラスチックごみ問題をはじめとする環境課題の解決が重要となる中、アサヒビール株式会社との共同開発から誕生したリユースカップ「森のタンブラー」は、微細化されたパルプ成分を、55%以上含有する新開発の樹脂「高濃度セルロースファイバー成形材料」から作られた環境配慮型のカップ。何度も使いたくなる魅力にもこだわり、木の風合いや手触りなど、使う人にも納得いただける特長も兼ね備えています。プラスチック使用量を削減し、くらしの中に使い捨てしないリユース文化を根付かせるために、持続可能なエコ製品や技術のさらなる開発活動に挑戦していきます。



植物由来のパルプ (セルロースファイバー) 石油由来の樹脂など



森のタンブラー (リユースカップ)



環境課題を解決し、さらにクリーミーな泡も実現



12 つくる責任
つかう責任



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。